

スクリーニングの対象となった感染症とリスク評価対象疾病（案）

生物多様性保全の観点から、国内の希少鳥獣や野生鳥獣の個体群の保全のために優先・注目すべき感染症を検討するためのスクリーニングの対象疾病及びリスク評価の対象疾病の案は表のとおり。

■スクリーニングの対象疾病

既知の野生鳥獣に関する感染症を体系的に網羅するため、以下①～④を対象とした。

- ①家畜伝染病予防法で指定されている家畜伝染病及び届出伝染病
- ②感染症法で指定されている1～5類感染症、指定感染症、新型インフルエンザ等
- ③OIEが指定するリスト疾病（水生動物衛生規約が指定するものをのぞく）、非リスト疾病、新興感染症
- ④我が国の野生鳥獣、特に希少鳥獣への影響の可能性が懸念されているその他の疾病（ネコ伝染性腹膜炎、ネコカリシウイルス感染症、ネコウイルス性鼻気管炎、コクシジウム症、ニホンザル血小板減少症）

■リスク評価の対象疾病

スクリーニング対象疾病のうち、毒素により発症するもの（中毒）、病原体が特定されていないものを除き、日本の野生鳥獣が感染し、何らかの影響を受ける可能性のある感染症として、以下①～③を抽出し、リスク評価対象疾病とした（表中に●で示した）。

- ①分類上、宿主となる日本の野生鳥獣が存在する疾病（哺乳類は科レベル、鳥類は目レベルを目安とする）
- ②感染症法で指定されている動物由来感染症のうち、鳥獣への影響について考慮が必要と考えられるもの（家伝法やOIEにより指定されているもの）
- ③動物由来感染症で家伝法やOIEにより指定されていないものの、最近の知見から日本の野生動物、特に希少鳥獣への影響の可能性が報告・懸念されている疾病

※ 第1回検討会の参考資料（スクリーニングの対象とする感染症）からの変更点：

- ・ニホンザル血小板減少症（スクリーニング対象疾病④として）、フィロウイルス感染症（OIE非リスト疾病。記載漏れ）を追加
- ・イヌジステンパーをモルビリウイルス感染症（イヌ科、ネコ科。イヌジステンパーを含む）に修正（ネコモルビリウイルス感染症も含む）

表 スクリーニング対象疾病（239疾病）とリスク評価対象疾病（135疾病）

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価対象（案）	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
1	牛疫（モルビリウイルス感染症）	家畜	—	○	○	●	
2	牛肺疫	家畜	—	○	—	●	
3	口蹄疫	家畜	—	○	—	●	
4	ウエストナイル熱（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○	—	●	
5	日本脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○	—	●	
6	東部馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○	—	●	
7	西部馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○	—	●	
8	ベネズエラ馬脳炎（流行性脳炎の1つ）	家畜	4類	○	—	●	
9	狂犬病	家畜	4類	○	—	●	
10	水泡性口内炎	家畜	—	—	—	●	

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
11	リフトバレー熱	家畜	4類	○	—	●	
12	炭疽	家畜	4類	○	—	●	
13	出血性敗血症( <i>P. multocida</i> )	家畜	—	○	○	●	
14	ブルセラ症	家畜	4類	○	—	●	
15	結核	家畜	2類	○	—	●	家畜伝染病は主にウシ型結核菌 ( <i>Mycobacterium bovis</i> )、2類感染症 は <i>M. bovis</i> BCGをのぞく結核菌群 ( <i>Mycobacterium tuberculosis</i> complex)
16	ヨーネ病	家畜	—	○	—	●	
17	ピロプラズマ症	家畜	—	○	○	●	
18	アナプラズマ症	家畜	—	○	—	●	
19	伝達性海綿状脳症 (BSE、スクレイピー、CWD)	家畜	—	○	○	●	
20	鼻疽	家畜	4類	○	—		ウマのみに感染
21	馬伝染性貧血	家畜	—	○	—		ウマのみに感染
22	アフリカ馬疫	家畜	—	○	—		ウマのみに感染
23	小反芻獣疫	家畜	—	○	—	●	
24	豚熱	家畜	—	○	—	●	
25	アフリカ豚熱	家畜	—	○	—	●	
26	豚水泡病	家畜	—	—	—	●	
27	家きんコレラ( <i>P. multocida</i> )	家畜	—	—	○	●	
28	高病原性鳥インフルエンザ	家畜	2類	○	—	●	
29	低病原性鳥インフルエンザ	家畜	4類	○	○	●	
30	ニューカッスル病	家畜	—	○	○	●	
31	家きんサルモネラ症	家畜	—	○	—	●	
32	腐蛆病(ヨーロッパ腐蛆病、アメリカ腐蛆病)	家畜	—	○	—		蜜蜂の感染症
33	ブルータング	届出	—	○	—	●	
34	アカバネ病	届出	—	—	—	●	
35	悪性カタル熱	届出	—	—	○	●	

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
36	チュウザン病	届出	—	—	—	●	
37	ランピースキン病	届出	—	○	—	●	
38	牛ウイルス性下痢	届出	—	○	—	●	
39	牛伝染性鼻気管炎	届出	—	○	—	●	
40	牛伝染性リンパ腫	届出	—	○	—	●	
41	アイノウイルス感染症	届出	—	—	—	●	
42	流行性出血病ウイルス感染症(イバラキ病)	届出	—	○	—	●	
43	牛丘疹性口内炎	届出	—	—	—	●	
44	牛流行熱	届出	—	—	—	●	
45	類鼻疽	届出	4類	—	—	●	
46	破傷風	届出	5類	—	—		中毒
47	気腫疽	届出	—	—	—	●	
48	レプトスピラ症	届出	4類	—	○	●	
49	サルモネラ症	届出	—	—	○	●	
50	牛カンピロバクター症	届出	5類	○	—	●	
51	トリパノソーマ症	届出	—	○	—	●	
52	トリコモナス症	届出	—	○	○	●	
53	ネオスポラ症	届出	—	—	—	●	
54	牛バエ幼虫症	届出	—	—	—	●	
55	ニパウイルス感染症	届出	4類	○	○	●	
56	馬インフルエンザ(A型インフルエンザ感染症)	届出	—	○	○		ウマのみに感染
57	馬ウイルス性動脈炎	届出	—	○	—		ウマのみに感染
58	馬鼻肺炎	届出	—	○	—		ウマのみに感染
59	ヘンドラウイルス感染症	届出	4類	—	○	●	
60	馬痘	届出	—	—	—		ウマのみに感染

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
61	野兔病	届出	4類	○	—	●	
62	馬伝染性子宮炎	届出	—	○	—		ウマのみに感染
63	馬パラチフス	届出	—	—	—		ウマのみに感染
64	仮性皮膚疽	届出	—	—	—		ウマのみに感染
65	伝染性膿疱性皮膚炎	届出	—	—	—	●	
66	ナイロビ羊病	届出	—	○	—	●	
67	羊痘	届出	—	○	—	●	
68	マエディ・ビスナ	届出	—	○	—	●	
69	伝染性無乳症	届出	—	○	—	●	
70	流行性羊流産	届出	—	○	—	●	
71	トキソプラズマ症	届出	—	—	○	●	
72	疥癬	届出	—	—	○	●	
73	山羊痘	届出	—	○	—	●	
74	山羊関節炎・脳炎	届出	—	○	—	●	
75	山羊伝染性胸膜肺炎	届出	—	○	—	●	
76	オーエスキー病	届出	—	○	—	●	
77	伝染性胃腸炎	届出	—	○	—	●	
78	豚テシオウイルス性脳脊髓炎	届出	—	—	—	●	
79	豚繁殖・呼吸障害症候群	届出	—	○	—	●	
80	豚水疱疹	届出	—	—	—	●	
81	豚流行性下痢	届出	—	—	—	●	
82	萎縮性鼻炎	届出	—	—	—	●	
83	豚丹毒	届出	—	—	—	●	
84	豚赤痢	届出	—	—	—	●	
85	鳥インフルエンザ	届出	4類	○	○	●	

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
86	低病原性ニューカッスル病	届出	—	—	—	●	
87	鶏痘	届出	—	—	—	●	
88	マレック病	届出	—	—	—	●	
89	鶏伝染性気管支炎	届出	—	○	—	●	
90	鶏伝染性喉頭気管炎	届出	—	○	—	●	
91	伝染性ファブリキウス嚢病	届出	—	○	—	●	
92	鶏白血病	届出	—	—	—	●	
93	鳥結核	届出	—	—	—	●	
94	鳥マイコプラズマ症 ( <i>M. gallisepticum</i> , <i>M. synoviae</i> )	届出	—	○	—	●	
95	ロイコチトゾーン症	届出	—	—	—	●	
96	あひるウイルス性肝炎	届出	—	○	—	●	
97	あひるウイルス性腸炎	届出	—	—	—	●	
98	兎出血病	届出	—	○	—	●	
99	兎粘液腫	届出	—	○	—	●	
100	バロア症	届出	—	○	—		蜜蜂の感染症
101	チョーク病	届出	—	—	—		蜜蜂の感染症
102	アカリンダニ症	届出	—	○	—		蜜蜂の感染症
103	ノゼマ症	届出	—	—	—		蜜蜂の感染症
104	エボラ出血熱(フィロウイルス感染症の1つ)	—	1類	—	○	●	
105	クリミア・コンゴ出血熱	—	1類	○	—	●	
106	痘そう	—	1類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
107	南米出血熱	—	1類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
108	ペスト(エルシニア症。Yersinia pestis)	—	1類	—	○	●	
109	マールブルグ病(フィロウイルス感染症の1つ)	—	1類	—	○	●	
110	ラッサ熱	—	1類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
111	急性灰白髄炎	—	2類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
112	ジフテリア	—	2類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
113	重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属 SARSコロナウイルスであるものに限る)	—	2類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
114	中東呼吸器症候群(MERS)	—	2類	○	—		ラクダのみに感染
115	コレラ	—	3類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
116	細菌性赤痢	—	3類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
117	腸管出血性大腸菌感染症(ベロ毒素産生大腸菌)	—	3類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
118	腸チフス	—	3類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
119	バラチフス	—	3類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
120	E型肝炎	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
121	A型肝炎	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
122	エキノコックス症(単包性、多包性)	—	4類	○	—	●	
123	黄熱	—	4類	—	○	●	
124	オウム病(鳥のクラミジア症)	—	4類	○	—	●	
125	オムスク出血熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
126	回帰熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
127	キャサナル森林病	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
128	Q熱	—	4類	○	—	●	
129	コクシジオイデス症	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
130	サル痘	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
131	ジカウイルス感染症	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
132	重症熱性血小板減少症候群(SFTS)	—	4類	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
133	腎症候性出血熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
134	ダニ媒介脳炎(フラビウイルス感染症として)	—	4類	—	○	●	
135	チクングニア熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
136	つつが虫病	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
137	デング熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
138	日本紅斑熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
139	Bウイルス病	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
140	発しんチフス	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
141	ボツリヌス症	—	4類	—	○		中毒
142	マラリア (人のマラリアをのぞく)	—	4類	—	○	●	
143	ライム病	—	4類	—	○	●	
144	リッサウイルス感染症	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
145	レジオネラ症	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
146	ロッキー山紅斑熱	—	4類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
147	アマーバ赤痢	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
148	ウイルス性肝炎 (E型及びA型を除く)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
149	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
150	クリプトスポリジウム症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
151	クロイツフェルト・ヤコブ病	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
152	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
153	後天性免疫不全症候群	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
154	ジアルジア症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
155	侵襲性インフルエンザ菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
156	侵襲性髄膜炎菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
157	侵襲性肺炎球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
158	水痘 (入院例に限る)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
159	先天性風しん症候群	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
160	梅毒	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
161	播種性クリプトコックス症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
162	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
163	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
164	百日咳	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
165	風しん	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
166	麻疹	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
167	薬剤耐性アシネトバクター感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
168	RSウイルス感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
169	咽頭結膜炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
170	A群溶血性連鎖球菌	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
171	水痘	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
172	手足口病	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
173	伝染性紅斑	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
174	突発性発しん	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
175	ヘルパンギーナ	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
176	流行性耳下腺炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
177	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
178	急性出血性結膜炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
179	流行性角結膜炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
180	性器クラミジア感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
181	性器ヘルペスウイルス感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
182	尖圭コンジローマ	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
183	淋菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
184	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)
185	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる (家伝法、OIE指定なし)

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症



No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
186	細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合をのぞく)	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
187	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
188	マイコプラズマ肺炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
189	無菌性髄膜炎	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
190	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
191	薬剤耐性緑膿菌感染症	—	5類	—	—		動物への影響が小さいと考えられる(家伝法、OIE指定なし)
192	新型コロナウイルス感染症	—	新型インフル等	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
193	心水症	—	—	○	—	●	
194	旋毛虫症(トリヒナ症。 <i>Trichinella</i> spp.)	—	—	○	○	●	
195	新世界ラセンウジバエ ( <i>Cochliomyia hominivorax</i> )	—	—	○	—	●	
196	旧世界ラセンウジバエ ( <i>Chrysomya bezziana</i> )	—	—	○	—	●	
197	サルモネラ症(羊及び山羊。羊流産菌等。家伝法対象外)	—	—	○	—	●	
198	囊虫症(豚囊虫症を含む)	—	—	○	—	●	
199	七面鳥鼻気管炎(鳥ニューモウイルス感染症)	—	—	○	—	●	
200	ミツバチトゲダニ ( <i>Tropilaelaps</i> spp.) の寄生	—	—	○	—		蜜蜂の感染症
201	ハチノスムクゲケシキスイ ( <i>Aethina tumida</i> ) の寄生	—	—	○	—		蜜蜂の感染症
202	ラクダ痘	—	—	○	—		ラクダのみに感染
203	リーシュマニア症	—	—	○	—	●	
204	ラナウイルス感染症(野生動物における)	—	—	—	○		両生爬虫類の感染症
205	藻類毒素中毒	—	—	—	○		中毒
206	アライグマ回虫症 ( <i>B. procyonis</i> )	—	—	—	○	●	
207	化学中毒	—	—	—	○		中毒
208	サーコウイルス感染症	—	—	—	○	●	
209	ゾウ(内皮細胞親和性)ヘルペスウイルス感染症	—	—	—	○		ゾウのみに感染
210	脳心筋炎ウイルス感染症	—	—	—	○	●	

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
211	ヨーロッパ褐色野ウサギ症候群ウイルス感染症	—	—	—	○	●	
212	肝蛭：巨大肝蛭 ( <i>F. gigantic</i> )	—	—	—	○	●	
213	肝蛭：巨大肝吸虫 ( <i>F. magna</i> )	—	—	—	○	●	
214	ネコ白血病ウイルス感染症	—	—	—	○	●	
215	ウミガメの線維乳頭症	—	—	—	○		両生爬虫類の感染症
216	フィロウイルス感染症（フィロウイルス感染症（エボラウイルス属、マールブルグウイルス属、クエバウイルス属のウイルスによる））	—	1類	—	○	●	
217	ハンタウイルス感染症（ハンタウイルス肺症候群）	—	4類	—	○	●	
218	免疫不全ウイルス感染（ネコ科、サル）	—	—	—	○	●	
219	フラビウイルス感染症（跳躍病を起こすもの）	—	—	—	○	●	
220	リステリア症（野生動物における。 <i>L. monocytogenes</i> ）	—	5類（細菌性髄膜炎）	—	○	●	
221	モルビリウイルス感染症（イヌ科、ネコ科。イヌジステンパーを含む）	—	—	—	○	●	
222	モルビリウイルス感染症（海生哺乳類）	—	—	—	○	●	
223	モルビリウイルス感染症（ヒトを除く霊長類）	—	—	—	○	●	
224	マイコトキシン中毒（カビ毒、真菌毒）	—	—	—	○		中毒
225	乳頭腫症（クロコダイルにおける）	—	—	—	○		両生爬虫類の感染症
226	リスト疾病に含まれないパラミクソウイルス感染症	—	—	—	○	●	
227	バルボウイルス感染症	—	—	—	○	●	
228	リスト疾病に含まれないポックスウイルス感染症	—	—	—	○	●	
229	疥癬（ヒゼンダニ症、 <i>S. scabiei</i> ）	—	—	—	○	●	
230	ヘビ真菌症 ( <i>Ophidiomyces ophiodiicola</i> )	—	—	—	○		両生爬虫類の感染症

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症

No.	疾病名	家伝法*1	感染症法*2	OIE		リスク評価 対象(案)	備考
				リスト疾病	非リスト疾病		
231	異常な病態または死亡事案(原因不明)	—	—	—	○		特定の病原体、疾病ではない
232	コウモリの白鼻症候群	—	—	—	○	●	
233	エルシニア症(腸炎エルシニア感染症。 <i>Yersinia enterocolitica</i> 。人にも感染)	—	—	—	○	●	
234	エルシニア症(仮性結核菌感染症。 <i>Yersinia pseudotuberculosis</i> 。人にも感染)	—	—	—	○	●	
235	コクシジウム症	—	—	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
236	ネコ伝染性腹膜炎	—	—	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
237	ネコカリシウイルス感染症	—	—	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
238	ネコウイルス性鼻気管炎	—	—	—	—	●	国内希少種への影響が考えられる
239	ニホンザル血小板減少症	—	—	—	—	●	国内野生鳥獣の個体群レベルの影響が考えられる

\*1 家畜：家畜伝染病 届出：届出伝染病

\*2 1類：一類感染症 2類：二類感染症 3類：三類感染症 4類：四類感染症 5類：五類感染症  
 新型インフル等：新型インフルエンザ等感染症